

アイアーン の国際協働学習 初めての方へ

目次

1. アイアーンと国際協働学習
2. コラボレーションセンター
3. 国際協働学習の進め方

アイアーンと国際協働学習

 **IEARN**

1. アイアーンと国際協働学習

- * 1-1 iEARNの概要
- * 1-2 iEARNの理念
- * 1-3 iEARNの国際協働学習
- * 1-4 iEARNの組織
- * 1-5 iEARNの日本センター

1-1 iEARNの概要

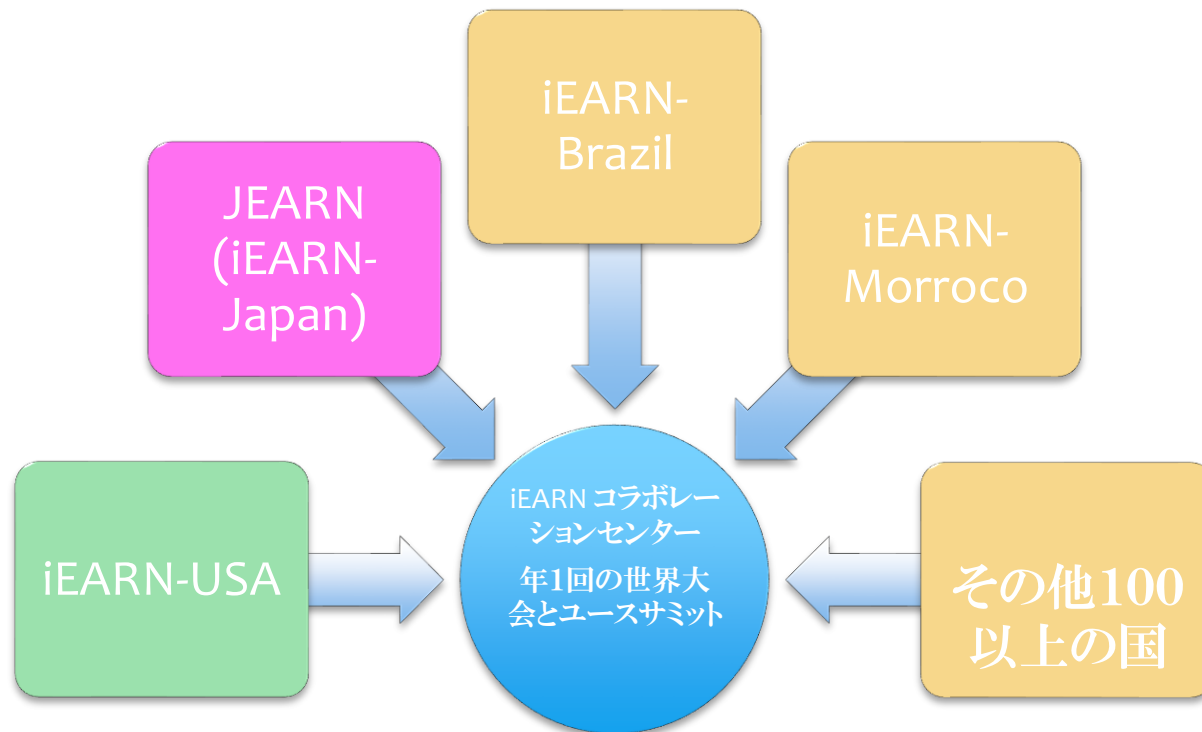
* 1988年設立 非営利団体

International Education And Resource Network

* 世界最大規模のグローバルな
国際教育ネットワーク

* 140の国と地域、30言語、教員5万人、
生徒200万人

世界140カ国・地域の教育者が 参加するネットワーク



教育現場から発信するiEARN

- * これまでの活動が上から下へ、つまり政府機関や開発援助機関、NGOといった情報を豊富にもつ組織から学校現場に対して情報提供や教員研修といった一連のアプローチを通して行われるのに対し、iEARNは学校現場から発信し、それが興味・関心のある人々を中心に自然に拡大・普及していくというものである。

文部科学省国立教育政策研究所・JICA地球ひろば共同プロジェクト（2014）
『グローバル化時代の国際教育のあり方国際比較調査』

- * https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/report/prmiv10000002sqn-att/comparative_survey02_01.pdf

誰でも、グローバルプロジェクトを 作ることができる！

ある学校の教員の独自の発想による国際教育活動を
iEARN が運営するウェブサイト上のコラボレーション・セン
ターに登録し、それを見た世界中の興味ある学校や生徒
がオンライン上で学習参加するというシステムである。

文部科学省国立教育政策研究所・JICA地球ひろば共同プロジェクト（2014）
『グローバル化時代の国際教育のあり方国際比較調査』

* https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/report/prmiv10000002sqn-att/comparative_survey02_01.pdf

1-2 iEARNの理念

iEARN 憲章序文

iEARNの目的は、若者たちが、地球と人類の健康と福祉に貢献するためのプロジェクトを行えるようにすること

The vision and Purpose of iEARN is to enable young people to undertake projects designed to make a meaningful contribution to the health and welfare of the planet and its people.

100以上のグローバルプロジェクト

- * 会員が立ち上げ、グループファシリテーターとなる

- * プロジェクトのビジョン

国連の持続可能な開発目標SDGsのどの目標と関連しているか (UN SDG Projects that are addressed)

またそのプロジェクトをすることにより周りの人々や地球市民としてどのように貢献できるか (Project Contribution to others and the Planet)

Sustainable Development Goals



1-3 iEARNの国際協働学習

国際協働学習

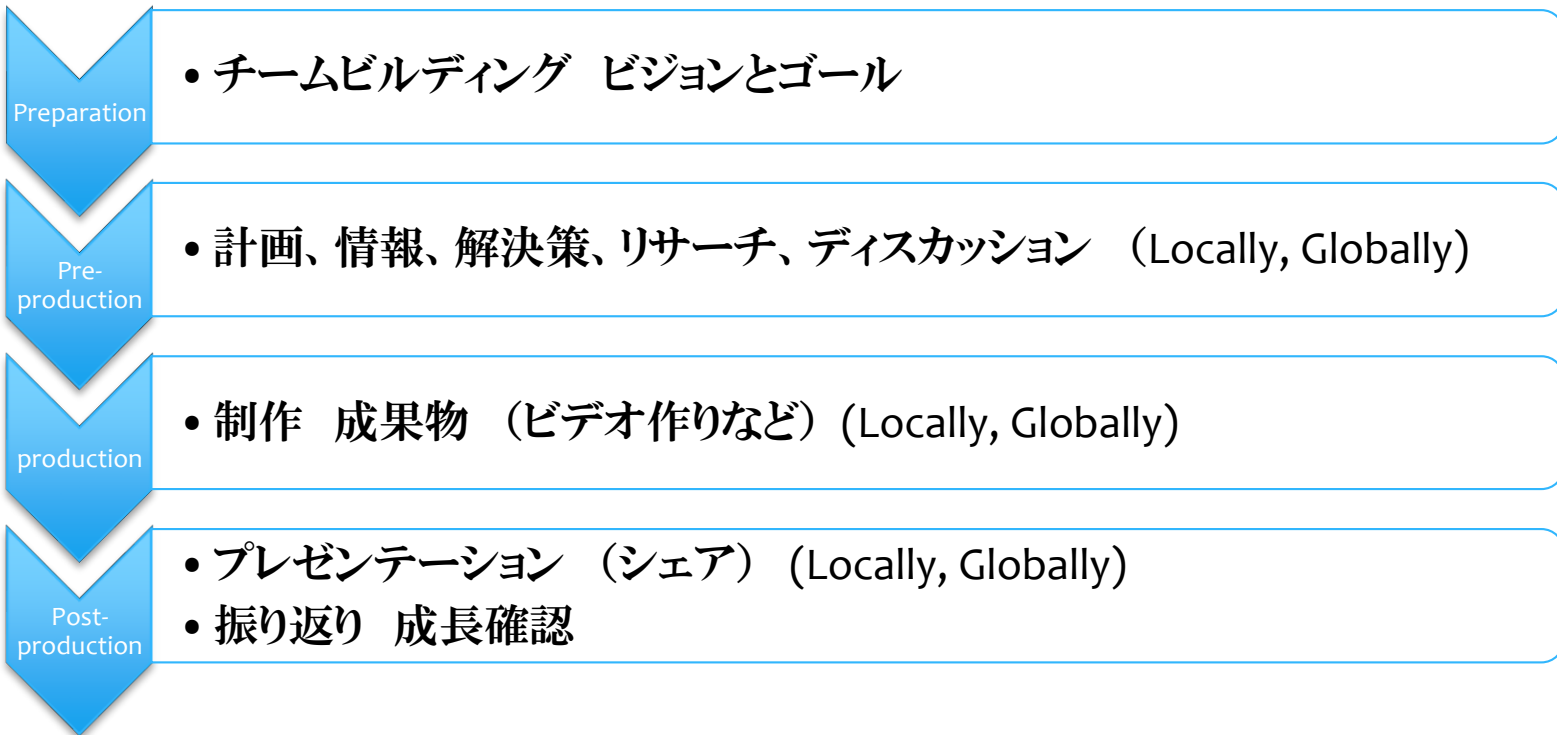
- * Global Collaborative Projects **を通じた学習**
- * Global Project-based Learning

- * **K-12年生を対象**

- * Learn with the world, not just about it.

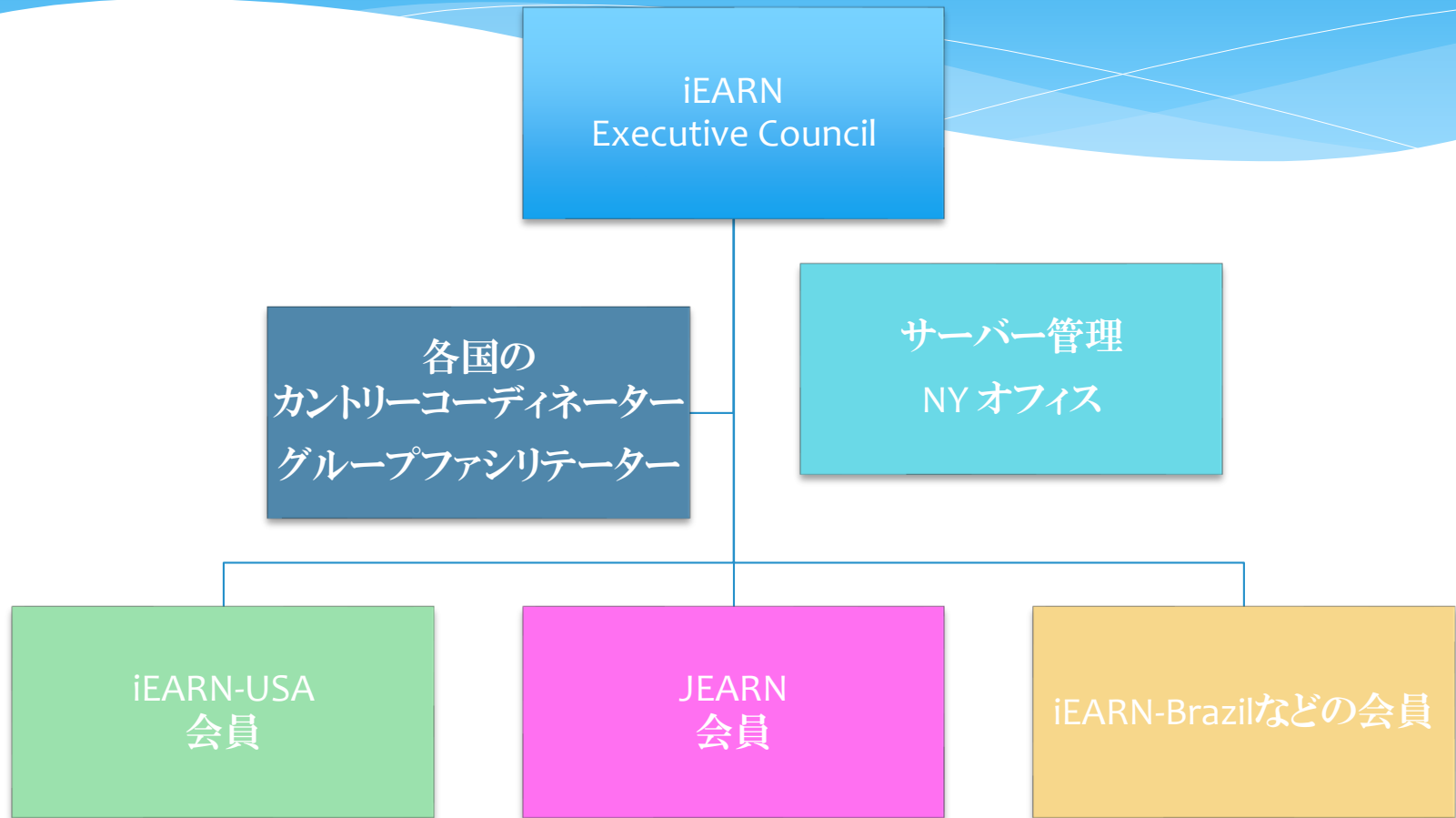
Project Based Learningの流れ

鈴木敏恵「プロジェクト学習の基本と手法」を参考として



1-4 iEARNの組織

上下関係ではなく、俯瞰図としてみてください。



JEARN

- * 特定非営利活動法人
グローバルプロジェクト推進機構 (通称JEARN)
- * JEARNは、 支部ではなく「日本センター」と呼びます。

国際協働のパイプ役

カントリーコーディネーター

⇒各国のセンターの窓口

JEARN 上野さん、納谷さん

グループファシリテーター

⇒各プロジェクトの担当者(立ち上げた人)

例えば、Holiday Card Exchange Projectは、
オーストラリアのJudy Barrさん

1-5 iEARNの日本センター

- * 特定非営利活動法人
グローバルプロジェクト推進機構 (JEARN)
- * <https://jearn.jp>
- * 会員の年会費で運営 (4月～翌年3月)
個人会員 3,000円/年
グループ会員 10,000円/年 1グループ5人まで
- * メールングリスト jearn@ml.jearn.jp
- * 事務局 office@jearn.jp
- * カントリーコーディネーターがiEARN 会員を管理

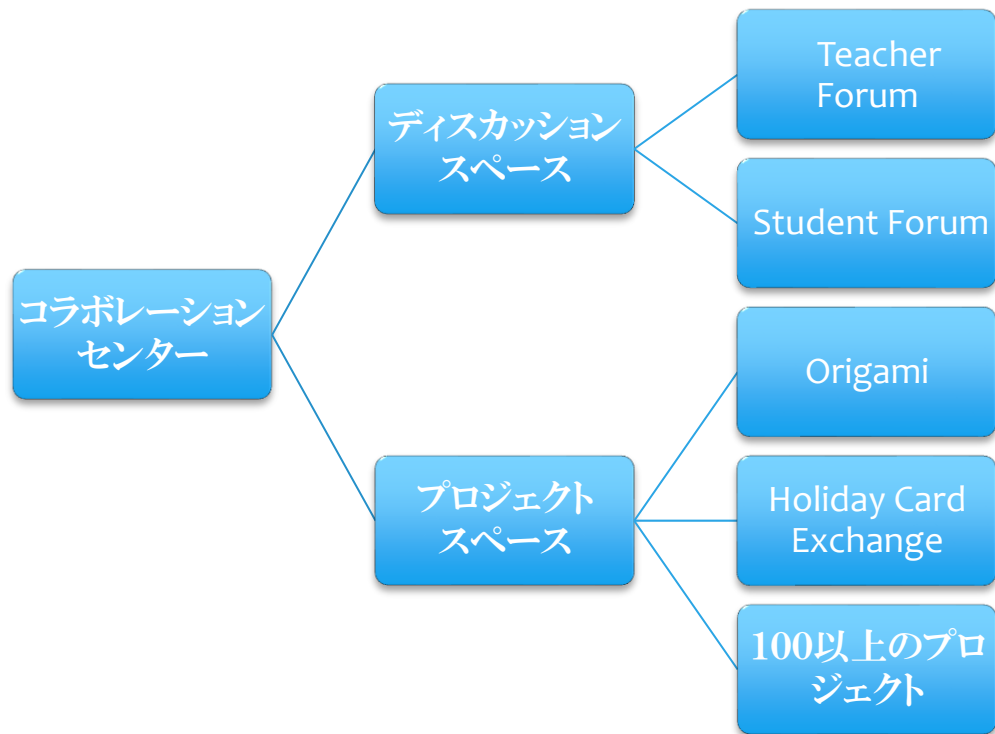
2. コラボレーションセンター



2. コラボレーションセンター

- * アイアーンのグローバルなネットワークの心臓部
- * 非同期型コンピューター・メディア・コミュニケーション (CMC) による協働学習

2-1 コラボレーションセンターの概要



2-2 コラボレーションセンターの 使い方

2-1 教員が使う機能

1. ログイン
2. Teacher Forum
3. スレッドの立て方
4. コメントの書き方
5. Youth Forum
6. プロジェクトサーチ
7. プロジェクトのグループに参加
8. 生徒の登録

2-2 生徒が使う機能

生徒用の画面は教員とは違う
教員のフォーラムには入れない

1. ログイン
2. Youth Forum
3. プロジェクトのグループに参加する
4. スレッドの立て方
5. コメントの書き方

3. 国際協働学習の進め方

- 3-1 現場に合わせたプロジェクト選び
- 3-2 できることから一歩ずつ
- 3-3 成功のかぎ
- 3-4 壁を乗り越える工夫

3-1 現場に合わせたプロジェクト選び

多種多様なアイアーンプロジェクト

- * テーマ
- * 対象年齢
- * オンライン/オフライン
- * 期間
- * パートナー校とのやりとりの深さ
- * 費用

教育現場による違い

- * 時間がどのくらい取れるのか？
- * 生徒の英語力はどのくらいか？
- * インターネット環境はあるのか？
- * 目的は何か？

正解はない！

時間がどれだけ取れるか

- * **短期** Youth Forum
Origami, Global Food Show & Tell
International Book Club, Holiday Card Exchange,
My Name around the World
- * **長期** Teddy Bear
Save the Innocent, Girl Rising
Machinto- Hiroshima for Peace
NDYS

3-2 できることから一歩ずつ

**step
by step**



まずは世界につながる扉を開けよう！



①フォーラムに投稿するだけ

Youth Forum, Origami, Heart to Heart,
Global Show & Tell, Girl Rising, My Name
Around the World

手順

- i. グループに参加する
- ii. 生徒の質問、意見、成果物を投稿する
- iii. 他の人の投稿を見て、生徒がコメントする
- iv. 海外からコメントが入る(非同期型CMC)
- v. 気づいたことを振り返る

②フォーラムでパートナー校と交流

- * Holiday Card Exchange, Teddy Bear, Girl Rising,
- * Origami, My Name around the World など

手順

- I. グループファシリテーター(または自分)が、パートナー校を決める
- II. フォーラムに投稿しながら、交流
- III. 交流しながら、各校で成果物を作成
- IV. スカイプ交流、ビデオレターでの交流(同期型・非同期型 CMC)
- V. 成果物をフォーラムでシェア、または郵送
- VI. ふりかえり

③ 国際会議、 国際交流に参加

- * 防災世界子ども会議 (NDYS)
- * Youth Exchange
- * iEARN 世界大会
(iEARN Conference & Youth Summit)
など

3-3 成功のかぎ

- * こちらの予定を前もってパートナー校に知らせる
- * すぐに返事をする、写真を送る
- * 個人メールでのやり取りも活用

教員間の信頼関係

注意点

- * 生徒が使う映像や写真は著作権フリー
- * 生徒の写真やビデオ作品の使用許可を取る
- * パートナー校の学校スケジュールの違い
(9月始まり、6月終わり)
- * グループファシリテーターやカントリーコーディネーターに遠慮せず相談

3-4 壁を乗り越える工夫



インターネット環境



生徒の英語力



個人情報

①インターネット環境がない

- * フォーラムでの交流は教員が行い、海外からのメッセージやビデオレターは後で生徒に見せる
(iphoneをTVに接続)
- * 現物の郵便での交換をメインにする

②英語力が足りない

- * 写真や絵を投稿する

- * テンプレートを利用する

I like to eat _____ on New year's Day.

- * オンライン英会話で練習

- * 翻訳機能を使う

③個人情報保護の問題

- * パートナー校に写真が送れない場合は、
事情をパートナー校に説明し、絵を送る、
学校のホームページを送るなど、
お互いの顔が見える工夫をする
- * プロジェクトのやり取り以外では、
写真を公開しない約束をする。
(FBで秘密のグループを作る)

JEARN会員間で助け合い、学び合い

①会員メーリングリスト

困ったことをシェア→ 誰かが教えてくれる

jearn@ml.jearn

②活動報告書（オンラインジャーナル）

“国際協働学習 iEARNレポート”

* <https://jearn.jp/iearn-report/index.html>

参考文献

- * iEARN <https://iearn.org>
- * iEARN (2018). “iEARN Teacher’s Guide to Online Collaboration & Global Projects”
- * 鈴木敏恵 (2012). 『プロジェクト学習の基本と手法』 教育出版
- * 文部科学省国立教育政策研究所・JICA地球ひろば共同プロジェクト (2014). 『グローバル化時代の国際教育のあり方国際比較調査』

https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/report/prmiv10000002sqn-att/comparative_survey02_01.pdf